

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

学校名【 大口町立大口中学校 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	全校生徒 690名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック講演会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックについての知識と理解を深めた上で、オリンピックの話をお聴く機会や交流の場を設け、間近に迫ったオリンピックの自国開催という貴重な機会に、大会を支え、盛り上げていこうとする気持ちやスポーツに対する興味・関心を高める。
5 取組内容	(1) <事前学習>全学級に対して事前学習の授業を実施 ① 東京五輪2020について <ul style="list-style-type: none"> <li>すでに日本代表として選出されている選手のインタビュー映像等で、選手たちのオリンピックにかける思いや出場までの軌跡を取り扱った。</li> <li>TOKYO2020教育プログラムを活用し、今大会のコンセプトや運営の裏側、会場ができるまでの道のりを取り扱った。</li> </ul> ② 近代五輪について <ul style="list-style-type: none"> <li>近代五輪が始まってからの歴史やオリンピズムの重要性、他の世界大会との違いについて取り扱った。</li> <li>国際親善や世界平和を謳っている根拠、どのような成果があったのかを歴史とともに振り返った。</li> </ul> ③ 五輪との関わり方 <ul style="list-style-type: none"> <li>現場に見に行く以外にも、関わり方が様々あり、持続可能性のある社会にしていけるために自分たちができることを学んだ。</li> </ul> (2) <講演会> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講師 NPO法人ピポットフット理事長 桑田 健秀 氏 (バスケットボール男子 元日本代表)</li> </ul>

- 御自身が出場されたモントリオールオリンピックでは、世界の選手たちとの様々な違いを感じながらも、多くのことを学び成長されたことを写真を紹介していただきながら話された。
- 日本代表として戦った仲間や学生時代に切磋琢磨した仲間と今でも交流があり、ともに戦った仲間、一つの目標と一緒に向き合ってきた仲間は時を越えて、一生の友人であるということをお教えいただき、生徒たちにも今の仲間を大切にすることの大切さを教えてくださった。
- 桑田さんが現役でプレーされている時から、指導者や理事長になった今でも『強い精神力』を大切にされていることを教えていただいた。辛いことや諦めてしまいたくなるのがたくさんあった中でも、精神力を強くもってきたからこそ今があるということをお教えくださった。
- 中学生に伝えたいこととして、世界の友人をつくること、強い精神力を身に付けること、スポーツを通して人とのつながりを増やしていくことなどを教えてくださった。



(3) 〈振り返り〉  
アンケートを実施した。

6 主な成果

(1) 〈講演会〉  
自分の取り組んでいるスポーツへの関わり方や、今後のスポーツへの関わり方を考えることができた。

◎ 今日の講演会を通して、学んだこと・考えたことを書きましょう。

昨日、陸上でオリンピックに出場することができたので、今回、オリンピック選手の人から話を聞けてよかった。また、講師の方からの話を聞き、オリンピックの壁の厚さに驚かされた。僕は、アジア大会での敗北の後、たくさん練習をして、次に行きたいレベルに打ち勝って優勝したい。憧れや目標から、その間の時間をうまく使って練習をしているというところが、トップレベルの選手の真面目さ、一生懸命さを感じて、僕もこのように頑張りたいな、と思いました。

【生徒Aの感想】

実際に音一諾に練習をしたチームとは、5年以上たつた今でも交流が続いている話を聞き、たくさん刺激を受けた。ただ楽しい時間だけではなく、友達とは違って厳しい練習を乗り越える仲間たちこそ、特別な感情を抱けるんだと思う。これからその出会いがあるように、自分の好きなことを続けていきたいと思う。

【生徒Bの感想】

	<p>(2) &lt;事前学習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 東京五輪についての知識を深めることができた。</li> <li>• 全校生徒のうち、90パーセント以上がオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東京2020教育プログラムの資料を使用した。</li> <li>• 講演会の前に講師の方に、事前に生徒の実態や事前学習で学ぶ内容を知らせ講演会での学びが深まるようにした。</li> <li>• 実際にオリンピックの方から話を聴くだけでなく、自分の知りたいことを直接質問する場を設定した。</li> <li>• 総合地域スポーツクラブと連携し、講師の先生を紹介していただいた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 予算の関係でオリンピックの選定が難しかった。</li> <li>• 講演会の内容を具体的に知らされていなかったため、事前指導で指導しきれていない部分があった。</li> <li>• 1時間だけの事前学習では紹介程度に終わることが多かったため、事前学習の時間を増やしたり、他教科と協力したりして指導をしていく必要があった。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<p>体育理論の授業を通して、今回の内容をさらに深く探究するような活動をさせていきたい。</p>